

## 第38回卒業証書授与式～卒業（たびだち）の時～

先週 10 日（木）に、玉幡中学校第38回卒業証書授与式を挙行了しました。卒業生と保護者2名、来賓1名、在校生の代表として1、2年生の生徒会本部役員、そして先生方で、その門出を祝いました。卒業生にとっては、コロナ禍で制限の多かった中学校3年間でしたが、創意と工夫をして、これらの逆境を力を合わせて乗り越えてきました。卒業生のみなさんは、雨の後には美しい虹がかかることをこれまで学んできました。逆境や困難を乗り越えた先の美しい虹のかかる風景を、仲間と一緒に見る時が必ずやってくることを疑わず、これからも一日一日を大切にしていってほしいと思います。『念ずれば 花ひらく 自分の花を咲かせよう』、みなさんのこれからの人生が前途洋々で幸多かれと祈っています。卒業生 101 名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。





## 【答辞】

暖かな日差しや、さわやかな風に春の訪れを感じる季節となりました。今日というこの良き日に、私たち 101 人は、この通い慣れた玉幡中学校を卒業します。校長先生をはじめ、私たちのことを見守ってくださった皆様、本日は私たちのためにありがとうございます。卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

ドキドキや、ワクワク、色々な気持ちが入り混じって迎えた入学式。何もかもが初めてで、全てが新鮮でした。先輩に追いつこうと、必死に頑張っていた矢先に新型コロナウイルスが猛威を振るいました。2年生になってからはコロナ禍にも関わらず、私たちを導いてくださった緑学年の先輩方。その姿を見て私たちも、後輩に安心感を与えられる先輩にならなければと強く思いました。先輩方が卒業し、私たちが最高学年として過ごす一年が始まりました。「HERO」。私たちはこの言葉に、一人ひとりが誰かのための「HERO」になってほしいという思いを込め、生徒会スローガンとしました。先の見えない不安が続き学校生活にも様々な制約がありました。発想を転換し、こんな世の中だからこそできることに取り組んできました。生徒会の最大行事である緑水祭。「千紫万紅～全ての花よ咲き誇れ～」をテーマに今年度も11月に無事開催することができました。多くの方の支えがあり達成感を味わうことができました。

在校生へ。私たちを一年間支えてくれて本当にありがとうございました。来年度も予測不能な一年になるかもしれませんが、全校で協力して玉幡中の伝統を引き継ぎ進化させ、よりよい学校を目指して頑張ってください。

私たちが入学してから今日という日を迎えるまで関わってくださった先生方。悩んでいる時、話を聞いてくださったこと。私たちの安全確認など目には見えない部分をいつも支えてくださったこと。毎日の授業や何気ない会話で励まし続けてくださったこと。全てが、かけがえのない思い出です。本当にありがとうございました。

私たちを一番支えてくださった家族。何かに挑戦する時も応援してくれてありがとう。一緒に悩んでくれてありがとう。素直になれず心ない言葉を発してしまったときも、大きな心で受け止めてくれてありがとう。私たちは今日からそれぞれの目標や夢に向かって歩み始めます。とはいえ、まだまだ未熟なところもあるので、これからもサポートよろしくお願いします。15年間本当にありがとうございました。



最後に青学年の仲間へ。

今日を迎えるまでみんなと充実した楽しい時間を過ごすことができました。青学年は男女関係なく仲が良く、お互いに切磋琢磨できる仲間です。仲が良いあまりにふざけすぎて先生に怒られることもありましたが、それもよい思い出です。修学旅行、緑水祭、学年レクリエーション、日々の授業のことを思い浮かべるとまだまだみんなと一緒にいたいと思います。時は許してくれません。しかし、3年間共にこの玉幡中で過ごしたことや青学年の絆は変わらないと思います。再び、青学年全員と会える日を楽しみにしています。

四季折々、豊かな自然で私たちを包み込んでくれた玉幡中学校。私たちは、これからこの学び舎で身に付けた「智慧」を生かし、力強く歩んでいきます。

結びに、私たちのために、このような素晴らしい卒業式を準備してくださった多くの方々に、心からの感謝を述べて、答辞といたします。

令和4年3月10日

卒業生代表 岡村 歩

卒業式前日には山梨日日新聞社様、前日と当日2日間にわたり、UTY様、市広報様には本校の卒業式に関わる取材をしていただき、誠にありがとうございました。感動的な卒業式の様子や卒業生の素晴らしさだけでなく、心温まる計らいとして、在校生と先生方で製作した『マリーゴールドのコサージュ』についても取り上げていただき、本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

